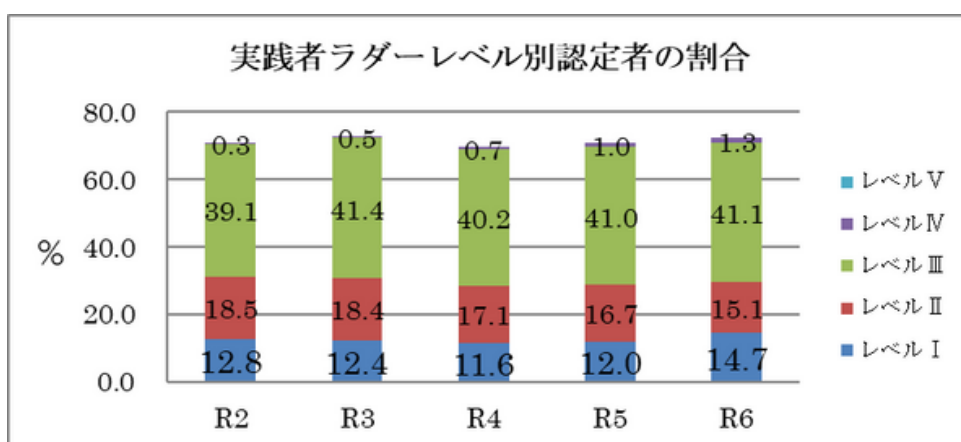


キャリア開発ラダーレベル別認定者

18. 実践者ラダーレベル別認定者の割合

実践者ラダー導入は、組織の理念に基づいた赤十字看護の質向上と専門職としての看護師の職務満足の促進を主たる目的とし、人事交流を促進し、赤十字全体の質向上が期待されています。よって、実践者ラダーレベル認定者数を知ることにより、間接的に提供されている看護の質を推測できます。



実践者ラダーレベル別認定者割合 (%)	R2	R3	R4	R5	R6
レベルⅠ	12.8	12.4	11.6	12.0	13.9
レベルⅡ	18.5	18.4	17.1	16.7	21.0
レベルⅢ	39.1	41.4	40.2	41.0	36.7
レベルⅣ	0.3	0.5	0.7	1.0	0.3
レベルⅤ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実践者ラダーレベル別認定者 (人数)	R2	R3	R4	R5	R6
レベルⅠ	79	74	69	72	89
レベルⅡ	114	110	102	100	91
レベルⅢ	241	247	240	245	248
レベルⅣ	2	3	4	6	8
レベルⅤ	0	0	0	0	0
看護職員数	616	597	597	598	604

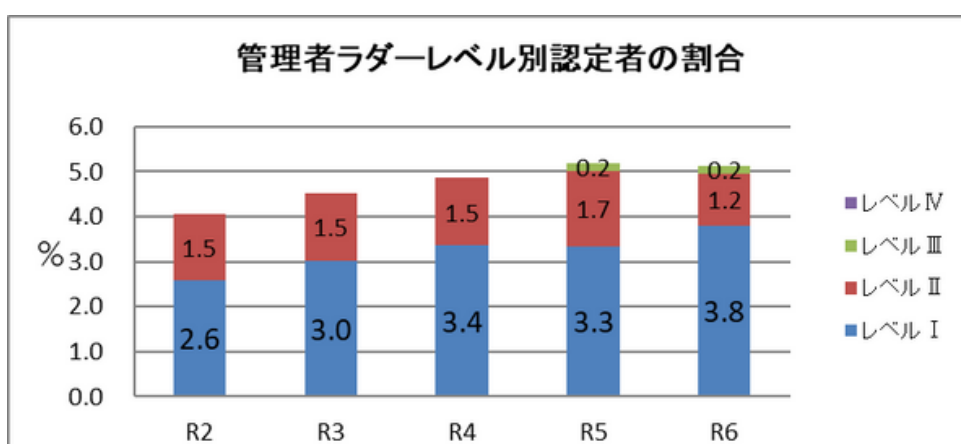
分子：在職している看護職員1人につき実践者ラダー既得レベルの一番高いもののみのカウント数

分母：看護職員総数（看護管理者、嘱託・臨時・パートタイマーを含む）
×100 (%)

※8月31日時点の人数である。

19. 管理者ラダーレベル別認定者の割合

管理者ラダー導入は、赤十字の7原則に基づいた組織理念の具現化をめざして看護の質を高め、自らのキャリア開発を自律して行うことができる看護管理者を育成することを目的としています。よって、管理者ラダーレベル認定者数を知ることにより、間接的に提供されている看護の質を推測できます。



管理者ラダーレベル別認定者割合 (%)	R2	R3	R4	R5	R6
レベルⅠ	2.6	3.0	3.4	3.3	2.1
レベルⅡ	1.5	1.5	1.5	1.7	1.3
レベルⅢ	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
レベルⅣ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
管理者ラダーレベル別認定者 (人数)	R2	R3	R4	R5	R6
レベルⅠ	16	18	20	20	23
レベルⅡ	9	9	9	10	7
レベルⅢ	0	0	0	1	1
レベルⅣ	0	0	0	0	0
看護職員数	616	597	597	598	604

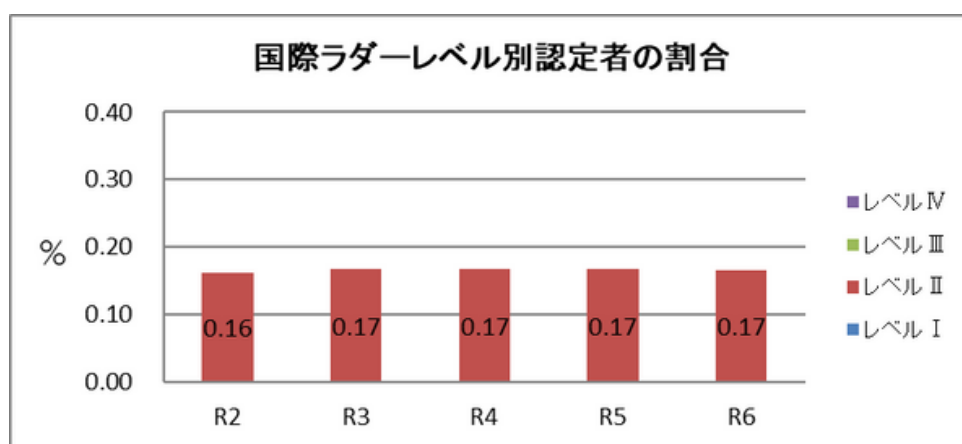
分子：在職している看護職員1人につき管理者ラダー既得レベルの一番高いもののみのカウント数

分母：看護職員総数（看護管理者、嘱託・臨時・パートタイマーを含む）
×100 (%)

※8月31日時点の人数である。

20. 国際ラダーレベル別認定者の割合

国際ラダー導入は、日本赤十字社の多くの看護職が、国際人道援助を遂行し、国際貢献できることが期待されていることから、その人材を育成することを目的としています。よって、国際ラダーレベル認定者数を知ることにより、国際的な人道ニーズに応える人材育成や国際貢献状況を推測できます。



国際ラダーレベル別認定者割合 (%)	R2	R3	R4	R5	R6
レベルⅠ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
レベルⅡ	0.16	0.17	0.17	0.17	0.17
レベルⅢ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レベルⅣ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国際ラダーレベル別認定者 (人数)	R2	R3	R4	R5	R6
レベルⅠ	0	0	0	0	0
レベルⅡ	1	1	1	1	1
レベルⅢ	0	0	0	0	0
レベルⅣ	0	0	0	0	0
看護職員数	616	597	597	598	604

分子：在職している看護職員1人につき国際ラダー既得レベルの一番高いもののみのカウント数

分母：看護職員総数（看護管理者、嘱託・臨時・パートタイマーを含む）
×100 (%)

※8月31日時点の人数である。